

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-才	交流と貢献による離島の新たな振興	施 策	① 多様な交流・協力活動の促進	
			施策の小項目名	—	
主な取組	国際交流・協力活動の促進				
対応する 主な課題	③離島の地理的特性や亜熱帯・島しょ性を生かした様々な研究開発、技術開発等を推進し、本県のみならず、アジア・太平洋地域の共通課題について離島からも積極的に発信し、離島の新たな振興へつなげていく必要がある。				

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
JICA事業（海外研修員受入事業等）を通じ、アジア・太平洋地域への国際協力を図る。		H29	H30	R元	R2	R3
実施主体	県、市町村、民間等	24団体 海外研修生受 入団体				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部交流推進課	【098-866-2479】	JICA事業を通じたアジア・太平洋地域への国際協力			

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況							(単位：千円)		
予算事業名	実施方法 H28年度 決算額 H29年度 決算額 H30年度 決算額 R元年度 決算額 R2年度 決算見込額						R3年度	令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
主な財源	その他	-	-	-	-	-	当初予算額	主な財源	OR2年度： OR3年度：
予算事業名									
主な財源	実施方法	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算見込額	R3年度	令和2年度活動内容と令和3年度活動計画	
							当初予算額	主な財源	OR2年度： OR3年度：

様式1(主な取組)

活動指標名	海外研修生受入団体数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要			
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B						
活動指標名	連絡協議会の実施				R2年度			0	やや遅れ	JICA事業（海外研修員受入事業等）を通して、アジア・太平洋地域への国際協力を図るために、県の窓口として設置した連絡協議会を開催し、JICA沖縄と県関係部との調整を行い、離島を含めJICAスキームとの連携が図られるよう調整を行った。			
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B						
活動指標名					R2年度			県内団体が行っている海外研修生受入を継続して実施するとともに、離島での研修も行う沖縄県企業局や沖縄県看護協会のJICA研修などについても引き続き円滑な受入ができるように関係各課と調整を行っている。今後、離島に関するJICA研修事業や草の根技術協力事業が策定されれば、開発途上国との情報交流・人的交流による新たな離島振興に発展すると考える。 新型コロナウイルスの影響で一部研修はオンラインで実施。	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果				
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B						
(2)これまでの改善案の反映状況													
令和2年度の取組改善案						反映状況							
・県の窓口として、JICA沖縄及び県各関係課との調整を行うとともに、計画どおり連絡協議会を開催するなど、JICAの有する様々なスキームに対する県庁内各部各課の理解を深め、JICAとの連携を促進する。						・JICA沖縄と沖縄県の連絡協議会を年2回実施し、府内のJICAとの連携や情報交換に関する要望を取りまとめるなど、県関係各課とJICAの連携を促進した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部オンラインで実施した。							



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点（内部要因、外部環境の変化）

○内部要因

- ・平成28年度からJICAとの間に新たに連絡協議会を設置し、令和2年度は年2回協議会を実施した。

○外部環境の変化

- ・JICA沖縄から様々なスキームによる県との連携の要望がある。

(2) 改善余地の検証（取組の効果の更なる向上の視点）

- ・離島の地理的特性や亜熱帯・島嶼性を生かした様々な研究開発、技術開発等とJICAの有する様々なスキームとの連携を促進する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

- 
- ・県の窓口として、JICA沖縄及び県各関係課との調整を行うとともに、計画どおり連絡協議会を開催するなど、JICAの有する様々なスキームに対する県庁内各部各課の理解を深め、JICAとの連携を促進する。